

東伏見慈洽院下の密葬、万感の思い

一般社団法人 大日本武徳会 監事
大阪府支部 支部長表

村田 雅人

東伏見慈洽院下の密葬が一月六日、青蓮院門跡晨殿にて執り行われ、小生も参列させていただきました。大変に寒い日で同日正午奉修、式衆天台宗高僧入堂、堂内にも火の気が無く大変寒くはありましたが、皇族や名士多くの方々が参列され、次第に従い光明供が厳肅に執り行われ、最後に、喪主東伏見慈晃様より、東伏見慈洽院下のご足跡のご紹介とご挨拶がございました。宗教界における最高位にあられる一方、京都大学で文学博士の称号を得、同大学の講義も為されたという学者としての側面、ピアノを愛好された芸術的側面など多方面にわたる優れた才能に加え、一方では大変優しく暖かいお人柄で誰からも敬愛される誠に得難い大徳でございました。誠に、上求菩提下化衆生、菩薩行をそのまま実践されたお方であり、大日本武徳会総裁としても、その功績は大変気高く、誠に北辰たるよりどころでございました。因らずも元旦、身は華とともに落ちぬれども、心は香とともに飛ぶ（性霊集）、入滅されるとは、喪主様、ご親族の皆様のご悲しみや如何ばかりか、察するにあまりあるものでございます。

お見送りに際しまして、皆様門前にてお待ちしておりましたが、小

雨が僅かに降り始め、それが雪に変わる時、お見送りとなりました。曇り空を見上げると太陽が雲に隠れ、やわらかい光に包まれておりました。その時、全ての蔭が薄らぎ柔らかな光に蔽われ、誠に大日の光明決して、空しいだけでなく、生前、武徳会会報にも掲載されました慈洽様の色紙、慧日破（諸）闇（観音経）が思うかばれ、今後我々を仏化を以て冥資されるとの願いと想いを致しました。小生も無為の功德、無作の功德を積み般若心経と並ぶ大経、般若理趣経（理趣釈）真言行者の菩薩行に見習い、今後の更なる精進へと心を新たに致しました。

なお、密葬の前日に一般社団法人大日本武徳会大阪府支部を代表し、弔電を打たせて頂きましたことをご報告致します。

